

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110020	X-01-A-1-110020	2	前期	【1年次生】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	1年
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	1年
金融論	牧野 智一			【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
				【2年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年

授業目的

金融論とは、貨幣に関する様々な経済現象について考える学問である。金融というと銀行などの金融機関を想像すると思われるが、金融論では貨幣が及ぼす企業活動や私たちの生活への影響と金融政策の効果について理論を中心に学んでいく。本講義の最終的な目的は、金融に関する理論について身につけた上で、実際に日本で実施される金融政策が私たちの生活や社会に及ぼすであろう影響を自らの判断で考察する能力を養うことである。

各回毎の授業内容

第1回 【授】イントロダクション 【前・後】【予習復習に2時間】テキスト第1章 第2回 【授】貨幣の役割 【前・後】【予習復習に3時間】テキスト第2章1 第3回 【授】貨幣の定義 【前・後】【予習復習に3時間】テキスト第2章2-3 第4回 【授】貨幣と物価の関係 【前・後】【予習復習に3時間】テキスト第2章4-5 第5回 【授】金利の重要概念 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第3章1-2 第6回 【授】利率の決定要因 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第3章3-4 第7回 【授】利率と債券価格 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第3章5 第8回 【授】金融政策の手段（伝統的政策手段） 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第6章1	第9回 【授】金融政策の新たな展開①（ゼロ金利政策、量的緩和政策） 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第6章2-3 第10回 【授】金融政策の新たな展開②（量的・質的緩和政策） 【前・後】【予習復習に4時間】テキスト第6章4-5 第11回 【授】貨幣市場の分析①（貨幣供給） 【前・後】【予習復習に5時間】テキスト第4章1 第12回 【授】貨幣市場の分析②（貨幣需要） 【前・後】【予習復習に5時間】テキスト第4章1 第13回 【授】金融政策の効果の分析①（短期：IS-LMモデル） 【前・後】【予習復習に5時間】テキスト第4章3 第14回 【授】金融政策の効果の分析②（長期：貨幣数量説モデル） 【前・後】【予習復習に5時間】テキスト第4章2 第15回 【授】まとめ 【前・後】【予習復習に5時間】テキストやノートの見直しをしっかりとしておくこと。 第16回 【授】テスト 【前・後】テキストやノートを活用し、復習をしっかりとしてテストに臨むこと。
---	--

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験	30	30			10		70
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			30				30
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

点数分布や平均点などをポータルにて公表し、講評を加える。

教科書参考書

家森信善(2016)『金融論（ベーシック+）』中央経済社

受講に当たっての留意事項

新聞やテレビなどにより経済関係のニュースにも関心を持ち、講義内容が自分たちに深い関わりがあることを理解して講義に臨むこと。

学習到達目標

金融の理論的知識を習得することと金融政策の効果と現状について考察できる能力が身に付くことを目標とする。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習